



### 「あいまいな喪失」に

現在、私たちがとり巻く状況は、幾分落ち着きはしたものの3年以上に及ぶ新型コロナウイルスや、いまだ終わりの見えない戦争によってもたらされる緊張と疲弊が色濃く、細みどころのない不安や焦燥感が蔓延しているように観ぜられます。この「曖昧(あいまい)な喪失」とでもいうべき不可逆性と向き合中で、拙速に「明瞭な獲得」に埋め合わせを求め、おそく解決策にはならないでしょう。むしろこうした時勢故に、芸術文化事業の継続を通じての、こどもたちや若年層への教育や、歴史文化の次世代継承と、超高齢化社会の暮らしの中での精神的な豊かさを保つことの一助となるような巧みな歩みを絶やさぬことが肝要に思います。

主催： 藤沢今昔まちなかアート実行委員会  
共催： 湘南藤沢文化ネットワーク  
後援： 藤沢市、藤沢市教育委員会、藤沢商工会議所、神奈川新聞社  
協賛： 湘南教育文化研究所、株式会社ソフトマシーン、トキ・アーツスペース、株式会社福田屋、関次商店 バンの蔵・風土  
会場： 有田家、旧桔梗屋、旧稲元屋、関次商店 バンの蔵・風土

お問合せ、連絡先： fsmuse0911@yahoo.co.jp 090-1212-4415 (伊東)

Instagram: f.artkonjaku Facebook: f.artkonjaku X: f\_artkonjaku

HP: https://f-artkonjaku.tumblr.com/

## 藤沢今昔・まちなかアートめぐり2023 「あいまいな喪失」に

10月28,29,  
11月3,4,5,11,12,18,19日(土,日,祝)

10時30分～16時  
(バンの蔵のみ日月火を除く営業時間内9～15時)

### 会場めぐりツアー

## 湘南の丘から旧藤沢宿へ2023「歴史的建造物とアートを訪ねて」

日時: 11/5(日) 9:20-13:30  
集合: 9:20までに藤沢駅北口5番バス乗場(9:25発バス乗車)  
参加費: 1,000円(呉野別入館料、資料、保険代、バス代別途自己負担)  
定員: 20名(申込先着順)  
申込: (10/1より)  
問合せ: a.mac@jcom.home.ne.jp 090-5427-8033(雅楽)  
主催: 湘南藤沢文化ネットワーク  
共催: 湘南伊豆文化祭連絡協議会

### 藤沢今昔・まちなかアートめぐり2023 シンポジウム

## 「遺し、守り、次世代に伝えたい藤沢の景観」(教育、建築、アートの視点から)

私たちが2010年から活動を継続し、今年で14回を数える過程で気付かされた重要な視点が、今回のシンポジウムの主題である「景観」でした。藤沢今昔・まちなかアートめぐりは、蔵や町家などの歴史文化遺産での現在進行形アートの表現、探究を通じて次世代継承を推進することを活動趣旨としますが、同時に藤沢宿の成立や変遷を知る上で、立地、水脈や植生といった自然環境と、産業や交通といった人の営みとの相互の関係性や総合的な構造を、具体的な場所やケースを通じて実感できたことが貴重な体験となりました。このたびは各分野の専門家の皆様の見解を集め、地域の景観から読み解けること、次世代に継承すべき藤沢の景観について、考察を深め、関心を喚起することに繋がることを願うものです。

日時: 11/15(土) 13:30開場/ 14:00開演 16:00終了

会場: 藤沢市役所本庁舎3階3-3会議室  
主催: 藤沢今昔まちなかアート実行委員会  
共催: 藤沢市(計画建築部 街なみ審視課)

参加パネリスト:  
岩本野宏 氏 (藤沢市教育委員会教育長)  
佐藤里紗 氏 (建築家、NPO法人旧モーガン邸を守る会理事)  
杉別 武 氏 (自治体学会事務局長、※シンポジウムコーディネーター)  
伊東直昭 氏 (美術家、藤沢今昔まちなかアート実行委員会代表幹事)

※新型コロナウイルス感染症の状況により予定を変更、中止する場合がございます。  
最新情報はSNSをご確認ください。

**風の蔵 風土 (関次商店)**  
営業時間 9:00-15:00 [売り切れ次第閉店]  
定休日 月曜・火曜  
TEL 090-2147-6314

創業明治二十年 節句人形問屋  
**福田屋人形店**  
藤沢本店 藤沢市本町 1-3-29  
TEL 0466-23-3131  
ホームページ www.fukudaya.co.jp

**TOKI Art Space**  
トキ・アーツスペース  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-42-5 サイオンビル1F  
TEL/FAX 03-3479-0332 http://tokiart.life.coocan.jp/  
12:00-19:00 (最終日17:00) 水曜休館

ソフトマシーン美術館  
www.smmwd.co.jp



1 関次商店 パンの蔵・風土



武井 隼人  
日月火を除く  
営業時間内 9-15時

2 旧福元屋呉服店



外蔵 ASADA  
外蔵 福家由美子  
内蔵前 オノ・ヨシヒロ  
加藤 裕士 LIVE PERFORMANCE  
日時: 10/29.11/3.5.12.19 各日 13:00 開演  
(10/28.11/4.11.18 は休演です)

3 旧桔梗屋店蔵



坪井 美保  
伊東 直昭

4 有田家



土蔵 石黒 和夫  
主屋 佐々木 薫



- 1 武井 隼人 (オトシモノ) 2022 紙
- 2 佐々木 薫 (In her eyes (2022-green)) 2022 アクリル絵の具、ポリエステルシート、和紙、他
- 3 坪井 美保 (傍いささう) 2022 新聞紙、線画材
- 4 伊東 直昭 (ケモノタタモノ・トビキタリツトピサリツ) 2022 木材、アルミニウム、不織布、アクリル絵具、他
- 5 ASADA (DRAGON TIME) 2022 陶器、毛糸、その他
- 6 オノ・ヨシヒロ (津の風(りちのかぜ)) 2022 木製パネル、水彩紙、アクリル絵の具
- 7 福家由美子 (往古来今(おうこらいこん)) 2022 ミクストメディア
- 8 石黒 和夫 (昇るか 降りるか) 塔: 小枝、針金



加藤 裕士 Kato Hiroshi  
LIVE PERFORMANCE



旧福元屋庭園と行幸碑の丘全体(マップの②)  
を舞台にして、1時間ほどのライブパフォーマンスを行います。  
日時: 10/29.11/3.5.12.19 各日 13:00 開演  
(10/28.11/4.11.18 は休演です)

武井 隼人 Taki Hayato  
学生時代から見ていた展覧会に今回初めて参加させていただけて大変光栄に思います。作品はオトシモノをテーマに制作しました。普段見かけないものへちょっと様々なアプローチで展開している作品です。ご覧いただくと幸いです。

伊東 直昭 Ito Naoki  
よいこともわるいことも  
どちらでもないことも  
こわいこともやさしいことも  
げんきなものとくたひれたものも  
ふるいものもあたらしいものも  
みえるものもみえないものも  
みなとびきりたりとびきりぬ

石黒 和夫 Ibhikuro Kazuo  
"塔人間がほしごとにつかまっています。昇っているのか? 降りているのか? それとも止まって考えているのか?"

佐々木 薫 Saaki Kaoru  
色との対話を楽しんでいる。彼ら(色)がいろいろと試みかけてくるので、深いと気づきから出てくるカタチの中を行ったり来たり...

坪井 美保 Tsuboi Miko  
蔵の良さは木や土の呼吸が感じられるところにあると思います。蔵の空間をひとつの森に見立てて作品を展開します。

オノ・ヨシヒロ Ono Yoshihiro  
毎回のこの街の歴史・文化・自然・思い出・命・未来をテーマに表現してしています。今回は藤沢の様々な風景・場所の価値からのインスピレーションをもとに描きました。タイトルは藤沢今昔「グーグル」のりぐりです。

福家由美子 Fuka Yumiko  
作品を介して現世と幽世が混ざり合う世界の具現化を試みます。表現することはこの世界を再認識する行為のようなものです。それは「祈る」という行為に近いかもしれません。

藤沢といえど? ということがいつもどんな作品になるかを考えています。確信も確信もときどきやっぱあやうく? 藤沢で決く!